
まさか

朔架

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

まさか

【著者名】

ZZマーク

N1949M

【 著者名】

【あらすじ】

コンビニであつたほんとの話。
仕事はきっちりやりましょう。

それは、テストが終わって昼飯をコンビニで買ひに行つた時の「」と
だった。

そうだなあ……。

おにぎり2個と、毒雨スープにしようかな……。
あ、ワンタン入りにしよう。

レジに並ぶ。

これは普通のこと。

「450円になります。」

「ちよつどお預かりいたしますー。」

ビニール袋に品物を入れてもう一つ。
ん?ストロー?

「あの、ストローはいらないです……。」

「え?あら、ごめんなさい。箸よねえ?ストローじゃ火傷しちゃう
わ。」

否、火傷以前の問題な気が……。

後日

友人に話してみた。

「きつとあなたなら、ワンタン吸えると思つたんじゃない?」

「いや、無理だから。誰だつて無理だから。」

「きつと出来るよ!」

「あなたがやんなさい!……」

お願いします。

袋の中には必要なものを入れてください。
ストローでスープは食べれません…。

(後書き)

ども、朔架です。

実話です。高校の時にほんとありました。
焦りましたよ。なんで、ストローー！？って感じで。
なにせ買ったのは、おにぎりと春雨スープ。
あと「ザート（よくノラシで売ってるもの）」だつたんで。

ストロー関係なくね？みたいな。

後日談も実話です。

友人に言われました。

やれるわけないでしょって言いましたね。

絶対ワンタンがつりますよ。

やれる！とか思つた人は試してください。

そして感想をぜひ！

著者はやらないんですけどねーへへ

では、また別の作品で。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1949m/>

まさか

2010年10月11日09時16分発行